



楽 生きがい大学始業式 しく学ぶ 生きがい大学スタート

4月12日、『第20回厚岸町生きがい大学始業式』が情報館で行われ、36人が出席しました。生きがい大学の学生は、町内に住むおおむね65歳以上の皆さん。

始業式後には、海事記念館の学芸員による歴史講座が行われ、NHK連続テレビ小説『あさが来た』の話を混ぜながら、幕末や明治、大正時代の厚岸について勉強しました。

平成28年度は防災講座や音楽講座、調理実習のほかに真龍小学校3年生との交流学習会などを予定しています。

環 学校版厚岸町環境マネジメントシステム 境に優しい学校作りを目指して

4月13日、役場大会議室で『学校版EMS(環境マネジメントシステム)認定書交付式』が行われました。

この学校版EMSは、町内の全小中学校で取り組んでおり、学校ごとに節電や節水、ごみ分別などを示し、環境に優しい学校作りを進めています。

認定式には町内の小中学校の代表者が出席し、若狹靖町長から各校の児童・生徒一人一人に認定書が渡され、代表して真龍中学校3年生の小笠原宇宙さんがあいさつをしました。



激 厚岸翔洋高等学校実習船壮行式 励を受け、長期実習の航海へ旅立つ

4月14日、厚岸翔洋高校(木村司校長)海洋資源科の3年生11人が、釧路中央埠頭から実習船『若竹丸(666トﾝ)』で、約1カ月間の長期実習の航海に旅立ちました。

実習では、南太平洋沖でマグロはえ縄漁を体験するほか、船舶の知識や船内生活を通じて集団生活の規律も学びます。

出港前に行われた壮行式では、実習生を代表して片桐駿平さんが、「この経験を実りあるものにするように頑張りたい」と決意を述べました。



姉 クラレンス市ローズベイハイスクール訪問団 妹都市から4人の生徒が厚岸町を訪問

4月16日から19日まで、姉妹都市であるオーストラリア・タスマニア州クラレンス市のローズベイハイスクールに通う生徒4人と引率者2人の6人が、厚岸町を訪問しました。

4人の生徒は、町内で3泊のホームステイを行い、真龍中学校と太田中学校、厚岸翔洋高校の授業にも参加。

真龍中学校の授業では、身体表現の学習としてパントマイムを体験し、真龍中学校の生徒と英語でコミュニケーションをとりながら、楽しんで授業に参加していました。



イベントや活動など、まちのニュースをお届けします



わ 入学式 くわくドキドキの入学式

4月7日、町内の各小学校で『入学式』が行われ、新1年生65人が期待と喜びを胸に6年間通う学校の門をくぐりました。

厚岸小学校(酒井裕之校長)では、真新しいランドセルを背負った22人の児童が保護者と手を繋いで登校。入学式では、自分の名前が呼ばれると、緊張しながらも元気に返事をしていました。

式の後には、2年生が歌と踊りを披露すると、緊張した表情だった新1年生にも笑みがこぼれていました。

この日は町内の中学校でも入学式が行われ、98人が新たな学校生活のスタートを切りました。



ス 元気いきいき教室 カットボールで大盛り上がり

4月5日、『元気いきいき教室(厚岸町社会福祉協議会主催)』が社会福祉センターで行われ、湖南地区在住で65歳以上の27人が参加しました。

午前中には、ゲートボールのスティックを使い、穴にボールを入れて点数を競う『スカットボール』が行われました。練習ではしっかりと穴に入れていたのに、本番で外してしまうと、周りの皆さんは大盛り上がり。お互いに交流を図りながら、楽しんで教室に参加していました。



交 新入生交通安全街頭啓発 交通事故や犯罪には気をつけてね

4月7日、厚岸小学校と真龍小学校の新1年生を対象に、『新入生交通安全街頭啓発』が行われました。

それぞれの学校の玄関先では、若狹靖町長や厚岸警察署の樋口泰弘署長、交通安全指導員が、入学式に登校してきた新1年生に「車に気をつけてね」など声を掛けながら、交通安全の黄色い傘や防犯ブザーなどを一人一人に手渡しました。

この啓発運動は、交通事故や犯罪から子どもたちを守るため、厚岸町交通安全運動推進委員会が毎年行っています。